



おじゃまします

さかき新企業人インタビュー②⑥

お客様第一で、きめ細かに対応 豊富な現場経験による提案も

(有)富澤電気工事 代表取締役
坂城町大字中之条1212-1

とみざわ たけし
富澤 武嗣さん



昭和27年、新潟県松代町（まつだいまち・現十日町市）生まれ。県立松代高校を卒業後、郷里を離れ坂城に。親類が営む電気店に勤めた後、24歳の若さで独立、富澤電気工事を創業。以来40年、坂城に根を下ろし東北信をエリアに電気設備全般の設計・施工に携わっている。趣味は読書、もっぱら歴史・時代小説を楽しんでいる。

ふるさとを離れ、坂城の地で電気工事業社を興した。以来約40年、企業、工場、一般住宅等の電気設備全般の設計・施工に携わってきた。「太陽光発電」や「オール電化」など電気設備工事の多様化・高度化が進む中で、地元密着型の電気工事業者として「お客様の立場に立った」きめ細やかな顧客対応に積極的に取り組みながら、商工会理事・建設部会役員として地元建設関連業者の育成、発展にも力を注いでいる。

——会社の歴史をお話しいただけますか。
郷里の高校を卒業して、坂城で電気工事業を営む親類の会社に就職しました。そこに6〜7年お世話になり、ひと

通りの仕事を覚え、昭和52年頃、業者登録をして独立しました。自宅が事務所代わりです。24〜25歳位だったと思います。最初は私1人でしたが、その後従業員を入れ、平成元年に今の事務所をつくりました。法人化は平成3年です。現在は5人体制で、小諸、佐久から長野まで、東北信をエリアに仕事をしています。
——仕事の内容は？
一般住宅と、ビル、工場など建物の電気設備工事全般です。電気工事といっても建物や設備の出身によってさまざままで、高低圧電気設備、弱電計装、消防設備の設計施工など、多岐にわたります。最近「オール電化」、「太陽光発電」といった新しいシステムの導入が増えています。一昔

——新たな取り組みや抱負は？
配線等これまでの一般的な電気工事のほかに、工場の機械自体の電気系の改良や制御に関わる操作性の改善など、お客様のニーズに応えるサービスに取り組み始めました。現場でちょっと手を加える、例えば、スイッチの位置を少し変えるだけで使い勝手が良くなり作業効率も上がる

前に比べて建築における電気設備の占める割合は増加傾向にあります。電線ひとつとっても種類は多様化しており、施工技術もより高度なスキルが求められています。
——最近の景況はいかがでしょうか？
どん底といわれた時期に比べるとやや持ち直してきたのではないのでしょうか。事業所や工場関係の工事も増えていきます。坂城町は、やはり製造業に元気が出ないと始まらないですね。建設部会では地元業者への受注促進を町などに働きかけています。建築物や公共投資が増えても我々のような小規模業者に仕事が回らなければ町全体は活性化しません。部会をあげて取り組んでいるところです。



んです。これはとても喜ばれています。これからは、そうした町の電気屋ならではの、辛いところに手が届くといいますか、そういうフレキシブルな顧客対応がますます重要になってくると思います。もちろん、お客様に喜んでいただける「きれいな」（丁寧な）仕事の基本です。
——現場経験豊富な社長ならではの発想ですね。
2人の息子が家業を継いでくれることになっています。弟はすでに手伝っていて、兄もいざれ帰ってきます。兄弟協力して、若く新しい感覚で会社を盛り上げてほしいですね。それが抱負といえますか、親としての夢ですね。